

# 北社会ニュースオ75号

2011年9月21日

発行者： 鈴木壮夫

今、台風15号が関東に強風を吹き荒らしている16時半です。これからもっとひどくなるとの予報、心配しながら、ドキドキしながら書き始めました。北社会が明日で良かったと安堵しながら。今日はいつもより乱文乱筆になりますが勘弁して下さい。

(1) 9月22日-第292回北社会-

講師： 米田まりなさん (高62回) 東京大学・文三・二年生

テーマ： 「共学化 第一期生 19才の決意」

今月1日、米田さんから連絡をいただきました。前日に北京より帰国したとのこと。聞けば、夏休み期間中に中国語を勉強に行っていたとのこと。すぐ、今月の講師を引き受けてもらいたいと頼み受け入れてもらいました。19才の決意を拝聴して70才の高齢者も若返りたいと楽しみにしております。

皆さんの“19才の秋”は思い出せますか。わたしはその年令だけですがはっきりと記憶に残っていることが三つあります。1960年の秋です。早慶六連戦、ケネディが米大統領選に当選、そして浅沼社会党委員長が刺殺されたことです。60年安保を引きずってよく「アカシアの雨がやむ時」を口ずさんでおりました。懐かしいです。

(2) 来月の北社会

講師： 青山史朗大先輩

テーマ： 「美術写真制作60年-名宝との出会い」

開催日： 10月17日(月)

先輩は夏の酷暑をさけて鹿教湯温泉で20日間ばかり静養され、この期間に講演の準備をされたそうです。特選した35作品を映写して、その特色や取材時の思い出を語っていただけます。先輩は今年卒寿を迎えられます。一人でも多くの会員にお目にかかれるよう強く強く望んでおられます。世話人も努力致しますが、盛会になることを切望しております。住友クラブ時代の旧会員にも呼び掛け致します。

(3) 11月以降の北社会予定

(A) 講師： 平朝彦氏 (高17回)

テーマ： 「広域液状化と闘う人々の力」 を予定しております。

(B) 講師： 日下啓氏 (高14回)

テーマ： 「海外駐在力 成功を導くための実例」 を予定しております。

18時半頃、庭の8mほどの泰山木が倒れた。大木は白い花が"思出"。